

北公民館

歌って元気に

～寿大学始まる～



6月27日(水)、平成14年度の寿大学が開講されました。受講生の中には、開会の1時間前に来られる方もいました。

第1回ということもあり、最初に元気を出して、1年間頑張ろうと、歌を歌うことにしました。

指導は、元愛媛大学教育学部附属小学校教諭で、現在は愛媛県生涯学習推進講師として活躍中の小川俊彦先生にお願いしました。

2年前にも、指導に来ていただき、たいへん好評でした。評判を聞いたのか、120人余りの参加がありました。

先生の指導のもと、「幸せなら手をたたこう」から始まりました。手をたたいたり、足をならしたり、肩をたたいたりして、受講生の心と体がほぐれていきました。

「富士山」「鳩」「どんぐりころころ」「しゃぼん玉」「海」「ハッピーバースデー」と歌は続きます。

▼小川俊彦先生



「ハッピーバースデー」では、当日お誕生日を迎えられた方を全員で歌で祝いました。時間も半分を過ぎますと、はじめは、恥ずかしがっていた方々も、だんだんと声が大きくなり、部屋の中は、楽しい歌声でいっぱいでした。その後も、「靴がなる」「浜千鳥」「通りゃんせ」「七つの子」「夕焼小焼」「ぞうさん」など歌は続きます。

歌の途中には、先生の楽しい話などで、笑い声が絶えず、

▼幸せなら手をたたこう!



時間があつという間に過ぎました。

最後に、「お山の杉の子」を歌い閉会となりました。北公民館では年間8回の寿大学を予定しています。みなさんの参加をお待ちしています。



保育シリーズ

ふれあいの中で...

白鶴保育所 武市幸子

保育士になって3年が過ぎ、今年は、1歳児を担当しています。朝、「シェンシェー」と手をさしのべてくる子どもたちの笑顔に、「今日も頑張ろう。」とやる気が出てきます。

保育所の近くには、緑豊かな田畑、有明公園、土手などがあり、自然環境に恵まれています。

「お散歩行くよ。」の声に、子どもたちは自分で帽子を頭にさせたり、靴をとりに行ったりとみんなお散歩が大好き! 避難車に乗って歩いているとすれ違う方や田畑にいる方たちから声をかけられ「バイバイ」と手を振ったりします。子どもたちが「ワンワン」と言う、「いぬおつたね。」と声をかけ、散歩を通して、言葉とイメージをつなげていくようにしています。近くのおばちゃんとも親しくなって、「ゴールデンレトリバーの「ふうちゃん」に触らせてもらったりと、地域の方々との触れ合いは、子どもたちにとって貴重な体験になっています。

また、当園は小規模園ということもあり、異年齢児との

交流が自然にできています。誰かが泣いていると「先生、○○ちゃんが泣きよるよ。」と友達のことを気にかけてたり、年長児が1歳児の部屋に来て、一緒に遊んでくれたりしています。

今年度、私たちはより家庭的な雰囲気、子どもたちが安心して遊べるような環境づくりに取り組んでいます。1歳児を受け持つのは初めてで、戸惑うことも多々ありますが、毎日が新鮮で勉強です。子どもたちが笑顔で過ごせる第一の環境が保育士でありたいと思っています。そして、一人ひとりを大切にする保育を心がけていきたいと思っています。



▲子どもたちと散歩に出て、パチリ!